

# かたしな

## 6月

平成15年(2003年)

No. 575



第29回区対抗ソフトボール大会が開催されました。女性投手も参加し熱戦が繰り広げられました。(詳細10P)

### 今月の主な内容

市町村合併地区別座談会 .....	2~9
できごと、広報文芸 .....	10・11
バック先生の英語教室・Let's speak English .....	12
おしらせ・図書室だより .....	13
おしらせ・年金広報 .....	14
おしらせ・生涯学習予定表 .....	15
いたずらわんぱく・窓口から .....	16

## 市町村合併の具体的デメリット

1	議員、職員などの数が減少するので、インフラ整備や福祉サービスなど住民に対する全体的な行政サービスが低下する恐れが大きい。
2	地域の歴史、文化、住民のコミュニケーションが失われる心配がある。
3	合併で市役所が遠くなり、行政サービスや住民要望の手続きが遅れる可能性がある。
4	合併で財政面の不安がなくなるとは限らない。
5	少子高齢化の課題は、合併で解決するとは限らない。
6	合併しても旧基幹集落（鎌田）は中心地として支所、学校、保育所等生活環境も整備され、生き残れると思うが、他の集落の過疎化は急激に進むと思う。
7	10年の特例措置が終わり交付税が減額される場合、利根沼田で合併の場合の受領額と合併しないでそれぞれが減額された場合でも受領総額は後者の方が多いものと思われる。
8	交付税等の制限があり、大変厳しい財政難が予測されても創意工夫して「観光と農業」を産業の中心に独立して村を残していきたいという強い意識がある。このような状況の合併は、歴史や伝統文化、生活環境、交通手段、公共施設の一極集中化、更に職員及び議員の削減などが要因となり小規模地域への格差を一段と拡大させる。
9	観光農業の衰退が続く中、これから村民挙げて取り組みを推進する矢先の合併は、連帯感や、信頼感、地域性その他伝統や自然環境にも影響する。建築、建設業、商業等の中央中心になり雇用の影響も懸念される。
10	建設計画を立てても計画は先送りになる恐れがあり中心地から離れれば離れるほど過疎になりやすい。
11	行政と住民との密接な関係が薄れ、地域の要望をカバーしきれない。小地域の特色を生かした地域開発は難しくなり都市型行政となる可能性がある。
12	効率性を推進すれば一層職場が減り職を求めて離村者が増大し少子、高齢化に併せて過疎化が進むと思われる。
13	各種委員も沼田で会議をするようになる。（距離が遠くなり時間と燃料がかかる。） 食堂等は会議がなくなり弁当、会食の注文が減る。
14	中央主導で進み、現在の予算規模が片品地区に当てられるか疑問（特に片品は僻地となる恐れ）

# 市町村合併地区別座談会を実施しました

去る5月13日、15日の2日間にわたって、各区単位で市町村合併地区別座談会を実施しました。

この座談会は、今年2月に実施した合併説明会の際、国、地方自治体とも財政難で合併して効率のよい行財政運営をするため、今政府では全国的に市町村合併を推進しているが、「片品村の今の財源からどの位節減すればこれから先片品村が自立してやっていけるかシミュレーションを出して欲しい。」「合併をした場合の具体的なメリット、デメリットを出して欲しい。」という意見が多数あったので、その説明をし住民の皆さんの理解を求め、これからの片品村の将来をどのような方向に進めたらいいのか村民の皆さん一人一人に考えていただくために実施したものです。

又、今後の市町村合併の検討スケジュールは次のとおりです。

- ① 6月中、18歳以上の村民にアンケート実施
- ② 7月中、アンケート集計
- ③ 8月号広報にアンケート結果掲載
- ④ 8月、利根沼田市町村任意合併協議会が地区別説明会実施
- ⑤ 9月、法定合併協議会の設置について協議

なお、今回の座談会の各区参加人数は次のとおりでした。

1区 22人 2区 15人 3区 27人 4区 23人 5区 25人 6区 24人 7区 23人  
8区 28人 (合計 187人)

## 市町村合併の具体的メリット

1	多様化、多角的な住民ニーズに対応できる。
2	大型プロジェクトが計画でき、観光振興が図れる。
3	広域的な観点から道路等生活基盤が整備され、利便性が増す。
4	公共施設の利用範囲が広がる。
5	適正な規模の教育環境整備により競争力も高まり学力向上が期待できる。
6	10年間は交付税が安定する。
7	専門的な技術、能力を有する職員の確保ができ、行政サービスの向上が図られる。
8	基盤となる財政力の強化が可能。10年間だけでも体力をつけることで安定した行政ができる。
9	利根地方の豊富な自然が一体的に活用できる。
10	職員、議員、各種委員の減少、小中学校、保育所の統廃合等に伴う経常経費の削減。
11	広域行政を構築し、財政面での優遇措置（一定期間）を受け総合的な建設計画の確立により経費等が節約でき効率的な行政運営が図られる。
12	普通地方交付税措置や激変緩和措置、地方特例債など。その他医療費、介護保険は広域体制により効率的になる。
13	スキー場をはじめ、尾瀬と丸沼と武尊のPRが広域にでき、観光振興が期待される。

## ○政策的経費で節減ができると考えられるもの

(単位千円)

事業名	説明	金額
花の谷づくり活動資材支給費	全額削除	6,000
ヘリコプター搭乗体験学習	中学3年生の搭乗体験事業削除	1,200
敬老バス割引乗車券販売事業	現在1,700円で販売を2,000円で販売 300円×2,400枚	720
消防ポンプ自動車を小型ポンプ積載車に	17年度 1台購入予定分	2,400
消防車を2/3に削減	29台を20台に	2,800
老人憩の家管理見直し	委託等	2,586
児童福祉施設	利用方法の見直し	2,135
高齢者福祉事業	高齢者に対する諸制度の見直し(敬老年金など)	2,200
敬老会各区で開催	対象者の増加のため	4,170
媒酌人報償事業	報償記念品の見直し	625
小中学生通学費補助金	小学生4km・中学生6km未満の減額	1,296
奨学基金繰出金	新規貸付者より制度の見直し(所得制限等)	7,260
放牧委託料	牧場を1箇所にする	1,960
使用料	前武尊牧場閉鎖のため国有地代	2,070
リスの工房民間委託	賃金、燃料、高熱水費等	2,843
手作り民芸館委託か閉鎖		2,800
修繕料受益者負担金	土地改良1,830,000×0.2 林道 770,000×0.2	366 154
農道工事受益者負担金	県費3,267,000×0.55×0.2 村単2,271,000×0.2	359 454
水路工事受益者負担金	県費20,000,000×0.45×0.2 村単4,000,000×0.2	1,800 800
土木事業委託料	法定外公共物委託終了測量設計直営で	11,850
水道事業委託料	宇毛地橋添架工事終了による減額	300
村道工事等受益者負担金	幹線道路を除く道路改良、修繕受益者負担金18,600×0.2	3,720
土木原材料費	資材個所見直し節約を図る	750
水道料徴収奨励金	事業廃止	970
尾瀬ロッジの営業委託	赤字経費	6,000
合計		70,588

市町村合併の具体的メリット・市町村合併の具体的デメリット・片品村財政シミュレーションについては、片品村合併調査検討委員会で作成し、市町村合併地区別懇談会の説明用に使用した資料です。

# 片品村財政シミュレーション

このシミュレーションは、そもそも市町村合併論議が国、市町村とも財政力の厳しさから来ていることから、片品村がこれから先合併しないで自立の道を選ぶとしたらこの位節約しなければ無理かなという数字です。ですからこれで決定したわけではありません。検討すればまだ課題はたくさんあると思います。

片品村の平成15年度当初予算は3,987,000千円です。この予算を基にして、経常的、政策的歳出予算を削減したものです。

## ○経常的経費で節減できると考えられるもの

(単位千円)

項 目	説 明	金 額
報 酬	議員、区長、組長及び各種委員の報酬20%減額 人員の削減（農業委員等）	14,310 3,900
職 員 人 件 費	勸奨退職制度を導入し、新規採用をしない場合 管理職手当の減額 5%	80,000 700
賃 金	臨時雇い賃金の減額 5% 臨時雇いの人員の削減（除雪作業員、給食センター等）	3,222 2,480
報 償 費	役員退職、完納表彰記念品の廃止 研修会講師等謝礼 20%減	3,383 1,710
旅 費	議員、役員研修旅費 普通旅費（宿泊、出張回数見直し） 20%減	5,195 2,161
交 際 費	村長、議長交際費 20%の減	400
需 用 費	消耗品費 20%減 ・ 事務用品の発注方法の検討と最大の節約 ・ 両面コピーによる、コピー紙の削減 食糧費 50%減 ・ 会議用昼食代廃止 ・ 各団体等の懇親会の回数減 印刷製本費 10%減 ・ デジカメ利用で写真プリント代節減 ・ パソコン利用で印刷代節減 修繕費 ・ 計画的な舗装補修工事により修繕費の減 ・ 配管伏せ替え工事終了により、見込まれる減	13,490 13,670 2,210 2,000
委 託 料	管理委託料 10%減 ・ 公有施設（公衆便所、公園管理等）の委託方法の検討と経費節減 ・ IT関連（システム、ネットワーク）保守管理の契約方法の検討	12,685
使用料及び賃借料	使用料及び賃借料 10%減 ・ OA機器等リース料の契約等の見直し ・ 各システム使用料の契約等の見直し 高速道路通行料 20%削減	9,186 330
備 品 購 入 費	庁用器具費 50%削減	4,322
負担金補助及び交付金	補助金 15%減 ・ 各団体補助金の削減	50,625
繰 出 金	他会計繰出金 10%減 ・ 各会計に繰り出している積算の見直し	20,890
合 計		246,869



災害や水不足となっています。

国は、食料自給率を四五%にすると言っていますが、それには農村が必要です。スイスのデカップリングにその例があり農山村が守られています。

一市八ヶ町村が合併すればスケールメリットによる財政の好転で、福祉、教育は良くなるかも知れませんが山村としての地域は沼田市とは違う。沼田市は都市だし。それらが合併しても方向性は一致しない。そのため谷ごとに合併し村を残すことが必要だし、ひいては、国家の基礎にもなる。

もう一つは、経済は競争原理で発展しているということ。各村が競争原理で競い合うことにより活性化すると思います。

現在、利根沼田広域圏がありますがこここの機能を強化すれば合併しなくても、かなりの部分間に合いますし合併の効果（メリット）が期待できます。

●このままアンケートを実施したのでは消化不良になると思います。区長、議員にリーダーシ

ップをとってもらい話し合いを進めて欲しい。

●独自の研究が必要、地域間のアンバランスは困るので、村全体の組織作りが必要。

●合併になった場合、片品村は中心部から遠いから白沢村に市役所、椎坂峠のトンネル早期着工、金精道路の通年化等を合併の条件にできないか。

●大都会は合併しやすいが、利根沼田はあまりにも広すぎて反対だ。合併し特例期間中はいいが過ぎれば、しないことと同じになる。一時的な恩恵では賛成したくない。

●片品村は、豊かな自然に恵まれているため、村づくりの進め方によっては、十分に自立してやっていけると思う。現に、全国の小さな町村が、合併しないでやっているところも見られる。

片品村はこうしてやっていくビジョンを打ち出した村づくりをお願いしたい。

## ○主な質問と回答

**問** これは、シミュレーションで一七年度をこの予算でやるということではないですか？

**答** そうです、前回税収が減る、交付税が減る中どうすればやっていけるのか具体的に数字を出して説明してほしい言う要望が多かったもので、内部で検討して出したものです。色々仮定して算出して数字を出したものです。

**問** ここまで数字を並べて、これだけ削減し、どういう予算が組めるのか、それでやっていけるのか、いけないのか？が選択のポイントだと思います。町村合併の一番の問題は財政赤字ですが、スケールメリットを活用し一市八町村中で合併しようという前提は財政が苦しいからだと思いますが、今回これだけ削減しました、これでやっていけるのか、難しいのか、そのシミュレーションが欲しかった。この資料は、数字の羅列としか判断できない。

ここにある削減節約は、今でも

やる気になれば出来る項目だと思ふ。町村合併を前提とした削減であれば、削減したことによって財政がどうなるのか、やっていけるのか、いけないのか？いけないのであれば、村民の皆さんにそれを説明しその情報を公開すべきだと思います。

**答** 前回（説明会）は合併についての説明だったが、交付税が減り、税収が減り需要は減らないでは、やっていけないし、議論にならないので、もう少し踏み込んだ具体的な数字を出して欲しいという意見が多数あったので、今回数字を出しました。本当にこれでもいいのかの問題はありますが、ギリギリに見直しをした場合のもので。これに対して村民の皆さんの協力が得られるなら村はやっていけるのではないかという数字を出したものです。また、合併した場合かどうか、ということもありますが、合併した場合、した当時はよくなると思いますが、その後は、するにしろ、しないにしろ今後はきびしい状態が続くと思われま

市町村合併地区別座談会では、皆さんからたくさん質問や意見がありました。今回はその一部を掲載しました。

### ○主な意見

●国は自分では改革をしないで、集落が点在した地方に合併を押しつけるのは無理なような気がする。それより国で行財政改革を行えば、そのくらいの金は浮くのではないかと思う。こちらから逆に国に働きかけていけばもっと良くなるのではないか。



●国の政策の失敗からこういうふうな押しつけになっていると思うが、とりあえず片品村がやっていける方法を考えて行かなければならない。できるかどうかは別として、森林保全税とか最終的にできるような方向でシミュレーションを作成し、このくらいの我慢が必要だよ、このくらい厳しい生活になるがそれでもいいですか、というシミュレーションの方が非常にわかりやすいのではないかと思う。

●合併問題は議論がどうしても金の方についてしまうが、それが少なくなるのは誰しも理解していると思う。今までが議会、行政ともに村のあり方についての話し合いがなさすぎたのではないか。村民は村に言えば何でもやってもらえるものがあつたり、お互いに本当にほしいのは何だったのか。必要ではない事までやり、そのため村も国も容易ではなくなつたのではなか。お互いに原点を考える良い機会なので、合併してもしなくても片品が無くなるわけではない。

だから、今後、片品をどう発展させるかが本質だと思うので、その議論を行政もしっかり打ち出して、こういうところに臨んでもらいたい。

●この前の説明会の時、合併の具体的メリット及びデメリットについてもっと調査してほしいというお願いをしたところ、よくまとめてくれて両方出してくれたと思います。特に、デメリットのほうは言いづらい面もあつたと思うが具体的に出してくれたと思います。

率直な感想を言いますと、県知事は、必ずしも合併を勧めてはいないんだと、都市型の議員からは、なぜもっと強く合併を押し進めないんだと知事に要望していると聞いていますが、知事は地方の考えることだとして自らは、先には立たないと聞いていますが、こういうふうなデメリットを挙げてみると片品村の場合は合併してもデメリットのほうが多いのかなと感じました。

載せたのではないと思います。

●難しい問題で、一七年度予算が一割弱の削減で出来るということと、利根沼田の交付税トータル額が合併してもしなくても変わらないという項目もあり大変重要なことだと思います。合併して全体に交付税が交付された場合は、片品村は不利になると思います。農協の例があるわけですし、よその町村の農家の方からは、合併しなかつたほうが良かったという話を聞きます。そうしてみると、片品村は、合併しないほうがいいのかという気がします。もちろんメリットの方もあるわけですけど。判断は皆ですることですけど。

●率直に言って、合併に反対です。理由は二つ有ります。一つは、村には村の機能があると言ふことです。山村がだめになると、都市もだめになるのは歴史が証明しています。減反で、水田のダム機能が損なわれ、水不足が生じ、林業の衰退により山が荒れて、保水機能が損なわれ

の沼田市も中心より郊外に活気があり片品村の人がたくさん居る。又、こうした問題の時は、

地域住民の結束が大事だ。デメリットとしてあげられたことをどのように克服していくかだと思ふ。組長単位で少なくとも一回は会議を開いて欲しい。

**答** 合併するかしないかはこの先五十年後、百年後がどうなるかの大事なことだが、明確に解からないだけに苦勞する。広報、議会だより等できる周知は行ってきましたので、ある資料を活用し判断して欲しいし、準備できた資料はその都度提供する。一七年三月の期限があるのでアンケートを行いそれを一つの参考資料としたい。村民、議会、村でよく考えて方向づけたい。説明会は要望地区には行ないます。

**問** メリットの中に観光の振興が図れるとありますが。今までのやり方はだめだと思ふ。ニーズを的確につかみ対処して欲しい。

**答** 成長経済の時スキー客は、百七十万人も来たが今は、何とか百万人を維持できればなので、

どこに問題が有り、どう対処するか研究検討しています。

**問** 合併した場合、シミュレーションもそうであるが、現在の行政がどういうふうに変つていくのか誰もが不安をもっている。又、具体的メリットにあるとおり、果たして住民サービスが行われるのか疑問もあり心配されることである。

したがって、検討を重ね努力をして村民に具体的にわかりやすい方法で周知を図って戴きたい。

**答** 先程も説明したとおり、住民ニーズに対するサービスも低下する件については確かに心配されることでもあります。又、反面合併によりメリットがあることも確かでございます。したがって、合併については、非常に重要な問題であり、又住民に取りましても重要でありますので関係者一体となつて十分に検討を重ね慎重に取り組んで行きたいと考えております。

**問** 合併のアンケートを取ることだが、今まで聞いた話の

内容では結論は出せないのではないか。この内容では片品村はデメリットの方が多いように思ふが、このまま賛否を取つても訳が分からずおしまいたいな感じがするのだが。

**答** 時限立法のゴールがいま示されているので、みなさんにその判断材料を示していただきたいというのがアンケートの意味である。住民投票ではないので、あくまでも参考意見として取扱わせていただくということである。アンケートを実施させてもらうわけだが、議会や村が住民の考え方を判断する材料とさせていただきます。

**問** この状態でアンケートを取るのなら疑問、正確な情報が欲しい。参加者も少ない、合併をするか、しないか原点到り返り、地域のためには何が良いか独自の勉強が必要。勉強するのに村は何か考えているか。

**答** 村として勉強会は計画していません。地区の説明要望には出向きます。

**問** 片品は、水源地であり、水源特区の申請をしてはどうか？水源の村になれば国も（片品村を）粗末に扱わないと思ひます。村の動きはどうでしょうか？それが通れば、それだけでも力になると思ひますか？

**答** これから色々な意見が出ると思ひます。たとえば、東京ではホテル税、ディーゼル車の乗り入れ規制等があるし、森林税、水源税、など各自治体、特に県を中心に地方独自の税が検討されると思ひます。その地域の色を生かしてやっていかなければならないと思ひます。

**問** 合併の最終的な判断は、誰がするのか？

**答** 議会での議決となります。その前に十八歳以上の者を対象に、住民のアンケート調査をします。





ので、経費は削減し、堅実な財政運営を行っていくことが大事なことだと認識しています。

**問** 合併するか、しないかの議論の前に、財政問題をもっと議論すべきだと思います。財政上やっつけなければ合併しかなないので、いくら理想論を述べても無駄だし、したがって、シミュレーションに歳入の項目の情報を出してほしい。我々住民に意見を述べさせるよりも実際に財政上やっつけていけるのかどうか村は具体的に示すべきだ。村が一番財政内容を知っているのだからこういう風に厳しいからこうするんだと案を示せば我々は議論が出来る。ただ、歳出の削減だけでは、(財政状況を)よく理解できないしやっつけていけるか不安です。

**答** ただいまの意見はよくわかりますが、合併は難しい問題で、昭和の合併、それ以前の明治の合併は国からの半強制でありました。今回は、厳しい財政の中で、効率的な自治の推進を目指して自主的な判断で行なうようにと

の指導のもと行なってきたが、一七年三月がタイムリミットだと言ってくる。(国は)もつとスムーズに行くと思っていたが地域が積極的に合併を進めないで、交付税の減額や人口一万人以下は、自治体として認めず、その権限を県や、隣接市に委譲する、又、合併すれば、特別債を認めると、アメとムチを用意してきた。しかし、大事なことは、合併して、村が良くなるんだという見通しはつきりわかれば誰も合併するが、それがわからないので、慎重にしかも時間がかかっています。そういう意味で我々がはつきり情報として示せばいいが先行きのことに關しては、不明確で示せないのが実態です。各地区に行くくと、村がはつきりさせて、それを示せばと言われますが、こういう時代ですので、皆で検討し、よかれと思うことをやるようにすべきだと思います。総意が合併であればそれを進めるし、反対であれば単独でやっつけていかなくてはならない。村民の皆さんに方向づけを出し

ていただき、それにしたがっていたという考えです。合併すれば十年間は、合併前の交付税を交付すると国は言っているが、それが以降は減額になる。二十年、三十年後が大丈夫との見通しがあればいいが国の七百兆円の借金実は千兆円も有るとも言われ、皆、慎重になっています。

**問** 合併した場合としない場合に、どうなるかの比較を提示してほしい。比較しないと判断が出来ない。この資料は単に予算を減額しただけのものと思う。

**答** 合併した場合交付税は十年間補償されます。合併しなかった場合の交付税減額は、国が数字を示していないために提示できない。本日の資料は、仮に三億円交付税が減額されれば、この政策で対処できることを意味している。また、五億円の減額になれば、さらに節約を進める必要があります。

**問** 交付税は合併した場合、旧片品村にいくつという訳ではないですね。又、合併した場合、現

在片品村で実施をしている各種の事業が当然見直しをされ、窮屈になることが考えられますね。したがってシミュレーション以上に矛盾さは出て来るものと思われる。尚、合併した場合、片品村が中心地となることは考えられないが、中心地はどこになるのか。

**答** そう言うこともありえます。又考えられます。尚、合併した場合の中心地については、まだ議論をされておりませんし、その段階でもありません。

**問** メリット、デメリットは利根沼田全体的な認識として捉えているのか、又アンケートは年齢別、性別、職種別、議員、役場職員等にしてもらえば世代の考えがわかるのではないか。

**答** 合併した場合の片品村のメリット、デメリットについて検討したものです。アンケートは、十八歳以上が対象、職種、性別等については検討しています。

**問** 我々の生活圏は、例えば医療分野では沼田市と言え。そ

# 第20回 県民スポーツ祭 オープニング大会

五月二十五日(日) 県立敷島公園陸上競技場(前橋市)を中心に第二十回県民スポーツ祭オープニング大会が開催されました。

この大会は、県民スポーツ祭として年間を通じて開催される各種大会のオープニングを飾る大会として、毎年開催されています。今年も県内の各市町村から参加した約二万人の選手、役員が競技及び応援でスポーツ祭を楽しんでいました。

なお、大会は尾瀬太鼓も参加しての県和太鼓会等の集団演技、片品村婦人会も参加しての民踊等の開会式典から始まり、競技は千メートルリレー、ゲートボール、ターゲットバードゴルフ、綱引き、グラウンドゴルフ、インディアカ、バウンドテニスの七種目で熱戦が繰り広げられ、片品村も全種目に参加しました。

片品村選手団の成績は種目別で、グラウンドゴルフ、インディアカ優勝、千メートルリレー準優勝、綱引き第三位、その他の種目も健闘し、村の部総台第三位という活躍でした。

選手、役員、応援の皆さん早朝より大変ご苦勞様でした。



オープニング大会入場行進



見事優勝したグラウンドゴルフ



集団演技(和太鼓)に参加した尾瀬太鼓



ターゲットバードゴルフ  
健闘したが惜しくも第五位



## 広報文芸

片品村俳句作家協会

## 平成十五年五月俳句会

鎌田 渡辺 和昭

山笑ふだんべい踊りの村祭

香水の人すれ違ふ水芭蕉

鎌田 吉野 道子

清流に手を湿らせて水芭蕉

雨蛙芭蕉の葉裏かくれけり

須賀川 大竹 久代

水芭蕉うぐいすも啼くよき日かな

遠くより見ゆる山寺鯉のぼり

鎌田 星野 芳江

木漏れ日を静に集め水芭蕉

鶯の初音聞きつつ水芭蕉

鎌田 星野 光子

老夫婦手をたずさえて水芭蕉

水芭蕉咲いて忙しくなる農婦

東小川 千明ヒロ子

花の谷百花の長や水芭蕉

水の精芭蕉の精の目覚かな

鎌田 中村 導子

水芭蕉葉裏にいこう蝶一羽

踏み入れば白一面の水芭蕉

鎌田 星野 末吉

新緑のなかにしづかに水芭蕉

ラバーで海水あびし建国日

越本 笠原 芳堂

蔓の巻く樵古本や水芭蕉

樵祠鶯の若葉に少女袴

鎌田 寺岡 貞子

水芭蕉木漏れ日もらい絹の肌

旅人のレンズにおすまし水芭蕉

摺淵 木村 佳江

水芭蕉まだ鶯群れて鳴きにけり

水芭蕉白極めけり森の雨

鎌田 福田二三四

群生も今がたけなわ水芭蕉

小流れに藻と戯れる水芭蕉

鎌田 星野トミエ

観光の客ひきとめし水芭蕉

湧き水の清き流れに水芭蕉

鎌田 星野 歌子

木道を行き交ふ人や水芭蕉

水芭蕉山懐ころに育まれ

鎌田 大竹 恵子

みちのくの菜の花畑急ぎ見る

奥多摩の湖すがし遅桜

摺淵 千明 新芽

一株の少女袴の紅に会う

枯木立一景成して水芭蕉

解説 樵祠 〓 ぶなほこら (ぶな木に腐れが入り空洞となっている姿)  
少女袴 〓 しょうじょばかま 〓 ひわ

## 第29回区対抗ソフトボール大会



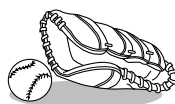
五月十一日(日)、片品中学校校庭において、第二十九回区対抗ソフトボール大会が開催されました。

五月にしては肌寒い中でしたが熱戦が繰り広げられました。結果は次のとおりでした。

- 優勝 第五区
- 準優勝 第四区
- 第三位 第六区
- 〃 第三区
- 優秀選手賞 星野孝俊(五区)

**敢闘賞** 星野 浩(四区)  
**二部大会**  
**優勝** 第八区  
**準優勝** 第一区

最後に、早朝より大会運営にご協力をいただきました役員並びに選手の皆さん早朝より大変ご苦労様でした。



## 寄付



五月二十三日(金)沼田市のホテルにおいて、国際ソロプチミスト利根ぬまた(木下啓江会長)主宰のチャリティーディナーショーが開催され、収益金の一部をシラネアオイを守る会(千明良会長)へ寄付していただきました。

当日は二百六十名の参加があり、贈呈式でシラネアオイを守る会千明良会長は、活動内容を説明し「有効に利用させていたいただきたい」と謝辞を述べました。

## 春季婦人会ミニバレーボール大会開催

五月十一日(日)片品中学校体育館において、第三十九回婦人会ミニバレーボール大会が盛大に開催されました。婦人会員の体力の増進と相互の親睦を深める事を目的として春と秋の年二回行われ、春季大会は区対抗となっております。合計二十八チームが出場し、どのコートでも熱戦を繰り広げていました。

選手・役員の皆様は朝早くから大変ご苦労さまでした。

- 優勝……一支部Aチーム
- 準優勝……八支部Aチーム
- 第三位……三支部Aチーム
- 第三位……五支部Aチーム
- 敗者復活戦(二部大会)
- 優勝……六支部Aチーム
- 準優勝……六支部Cチーム
- 第三位……四支部Dチーム
- 第三位……五支部Dチーム



## 県総合表彰受賞

五月十三日、群馬会館において平成十五年度群馬県総合表彰の表彰式が行われました。この表彰は、地方自治や教育、福祉、消防防災、農林商工などの各分野から地道な活動で県民生活の充実や文化等に功績があった個人百十四人、四団体が表彰されました。

片品村からは、消防防災功勞として元消防団長の萩原博美さんが、商工功勞としてスキー場経営者協会の星野市次さんが受賞されました。



表彰式に出席した萩原御夫妻



表彰式に出席した星野御夫妻

今後も村発展のため、後進の指導をお願いいたします。



# お知らせ

知っていますか？

## 国民健康保険の こんなこと

★学生や仕事の都合で個別の保険証がほしいとき

学生や仕事の都合で遠くへ行っている人で、次に該当する場合は個別の保険証を発行します

・対象となる人

- ①住所が村外にある修学中の学生
- ②仕事の都合で遠くへ行っている人
- ③施設へ入所している人

・持参するもの

国民健康保険証・印鑑・学生は在学証明書

★交通事故だけがをして国民健康保険を使いたいとき

交通事故などで、第三者から被害を受けた場合でも、国民健康保険で医療機関にかかることができます。

交通事故にあつたら、すぐに警察に届け出るとともに、国民健康保険で治療を受けるときは、必ず「第三者の行為による傷病届」を届け出てください。

・持参するもの

国民健康保険証・印鑑・交通事故証明書・車検証(写)・自賠責保険証(写)

詳しい問い合わせ先は役場保健課まで

電話 58-2111 (内線32)

## 受動喫煙防止に ついて

国民の総合的な健康の増進を図るための健康増進法が、平成十五年五月一日から施行されました。

この健康増進法の第二十五条において「学校、体育館、病院、劇場、集会場、展示場、百貨店、事務所、官公庁施設、飲食店その他多数の者が利用する施設を管理する者は、これらの施設を利用する者に対して、受動喫煙を防止するために必要な措置を講ずるよう努めなければならない」と定められました。

また、本条において受動喫煙とは「室内又はこれに準ずる環境において、他人のたばこの煙を吸わされること」と定義されました。本条は、受動喫煙による健康への悪影響を排除するために多数の者が利用する施設を

管理する者に対し、受動喫煙を防止する措置をとる努力義務を課すこととし、積極的に推進することとしたものであります。

なお、本条における「その他の施設」とは、鉄軌道駅、バスターミナル、航空旅客ターミナル、旅客船ターミナル、金融機関、美術館、博物館、社会福祉施設、商店、ホテル・旅館等宿泊施設、屋外競技場、遊技場、娯楽施設等多数の者が利用する施設を含むものであり、同条の趣旨に鑑み、鉄軌道車両、バス及びタクシー車両、航空機、旅客船などについても「その他の施設」に含まれますので、施設管理者は分煙など必要な防止対策をとるよう努めて下さい。

たばこの煙には六〇種類以上の発ガン物質などが含まれており、ガンや心臓病などの生活習慣病の大きな原因の一つとなっています。喫煙がなければ、回避できた死亡者の数について我が国では一年間に九万五千人にのぼるとのWHOの研究報告があります。また、一兆三千億円の医療費負担が不要であったとの試算もあります。

「愛煙家」の皆さんも、自身の健康はもちろん、大切な家族や会社の仲間など周囲の人に受動喫煙を防止するためにご協力をお願いいたします。

## 母子会からのお知らせ

夏休みを利用して次のとおり母子家庭等ふれあい交流事業(旧母子生活学校)事業を行います。

1. 期 日 平成15年8月4日(月)～5日(火)(1泊2日)
2. 行き先 サンシャイン60と富士急ハイランド(遊園地)  
4日(月) サンシャイン60(水族館と展望台)  
5日(火) 富士急ハイランド(山梨県)
3. 参加負担金  
大人 8,000円(母子会員外10,000円)  
子供 6,000円(母子会員外8,000円)  
宿泊代(朝食のみ)と水族館・展望台の入場券及び富士急ハイランドのフリーパスを含みます。
4. 申し込み 希望者は6月20日(金)までに負担金を添えて母子会事務局へ申し込んでください。  
片品村社協 (☎58-4812)  
※ 定員25名になり次第締め切ります。

## 図書室だより

読んでみませんか



### 『生きて候』 安部龍太郎 著

美しく己の命を使い切れ！養父の遺した言葉に胸に刻み、一代の風雲児の半生が幕を開けた。その名は政重。家康の懐刀本多正信の次子にして、鬼落としの大業で知られた槍の達人。天下分け目の一番、土道の是非を賭けて、関ヶ原に臨む！後の宮本武蔵、竹蔵が登場するのも面白いですね。

### 図書室カレンダー 6月

日	月	火	水	木	金	土
①	②	3	4	5	6	⑦
⑧	⑨	10	11	12	13	⑭
⑮	⑯	17	18	19	20	⑳
㉑	㉒	24	25	26	27	㉓
㉔	㉕					㉖

\*毎週火、水、木、金曜日  
\*午後一時、五時 開室  
\*〇印はお休みです。





We have a special column this month: my parents' first impressions of Japan!

今月はスペシャルコラムです。私の両親の日本についての第一印象！

I was surprised to find that Japanese people use cash more than credit cards.

日本では、クレジットカードより現金を多く使うので驚きました。

I think Americans find it more convenient to carry credit cards instead of a lot of cash.

アメリカ人は大金の代わりにカードを持ち歩く方がより便利だと考えています。

This way, if we lose our purses or wallets, we don't lose all our money.

そうすれば、もし財布や札入れをなくしても有り金を全部失うことはありません。

Also, some Americans are afraid of being robbed, especially in big cities.

また特に大きな都市では盗まれてしまうことも心配です。

However, we see that many Japanese respect each other and each other's property.

でも、私たちには多くの日本人はお互いとその所有物を尊重しているのがわかります。

So, we feel very safe about our belongings and our selves.

それで、私たちは持ち物や自分自身をととても安全だと感じられます。

母--Dalia Bach ダリア バック

**Key words: キーワード:**

surprised 驚く	especially 特に
cash 現金	however しかしながら
convenient 便利な	respect 尊敬する
purse 財布 がま口	property 財産
rob (robbed) 奪う	belongings 所持品
self (selves) 自分自身	

I am impressed with how well Japan conserves its natural resources.

日本は天然資源をととても大切に使うことが印象に残りました。

Japanese people rely on small automobiles and public transportation for getting around.

日本の人たちは移動するために小さな自動車を使い、公共交通機関を利用します。

This saves gas and lowers pollution.

これで燃料を節約できて汚染も減らせます。

Also, you use fluorescent lights, which use less electricity than American light bulbs.

蛍光灯も使いますが、それもアメリカの電球より消費電力が少なくてすみます。

You even save power when you let the sun dry your clothes.

太陽で洗濯物を乾かすのも電気の節約になります。

When other countries use up all their natural resources, Japan will still be able to function.

他の国が資源を使い果たしても、日本はやっていけるでしょう。

I think Americans could learn a lot about conservation from this country.

アメリカは、この国から資源を大切にすることについて多くを学ぶことが出来ると思います。

父--Jan Bach ジャン バック

**Key words: キーワード:**

conserve 浪費しない	fluorescent 蛍光性の
natural resources 天然資源	power 力 能力
rely 信頼する	use up 使い果たす
pollution 汚染	conservation 保存 維持

## Let's speak English!

Join an English conversation class ☆ with Eva  and Shannon !

### 英会話教室参加者募集！！

**対象者** おとなの方 特に初心者  
**日程と会場** 片品村と利根村で交互に行います。

7月 1日(火) 片品村 中央公民館 2階  
7月 8日(火) 利根村 若者定住センター(役場隣) 3階  
7月 15日(火) 片品村 中央公民館 2階  
7月 22日(火) 利根村 若者定住センター(役場隣) 3階  
7月 29日(火) 片品村 中央公民館 2階  
時間: 午後7時30分~午後9時

**定員** 片品村、利根村それぞれ10名 計20名程度(先着順)

**参加料** 無料

**申込み方法** それぞれの教育委員会に電話で申し込む。原則として両方の会場に出席できる人を優先します。

**締切り** 6月25日(水) 定員になり次第締切ります。

**講師** 両村の英語指導助手(イーバとシャノン)



☆SEE YOU THERE!

# ふるさとの木で家を建てよう

## 「杉百本」家づくり推進事業

県では、県内に住宅を新築する方を対象に、県産杉柱材を無償提供する事業を4月7日から開始しました。

この事業は、県民の皆さんにふるさとの山で育った木「ぐんま優良木材」に対する理解を深めていただくと共に、円滑な県産材流通システムの整備を推進するために実施するものです。

### 事業の内容

○提供する杉柱は「ぐんま優良木材」として認証された寸法12cm(4寸)角、長さ3mのもの。

○本数は1棟当り110本を上限。

○平成15年の対象棟数は100棟。

### 申込の条件

○構造材に「ぐんま優良木材」を60%以上使用すること。

○住宅建設業者が「ぐんま優良木造住宅建設業者」として、ぐんま優良木材品質認証センターに登録されていること、など。

### 問い合わせ先

沼田行政事務所 森林部

(林業振興グループ)

☎0278-22-4481

県庁林務部林業振興課

(県産材振興グループ)

☎027-226-3236

## 障害者雇用奨励金制度

この制度は景気低迷が続く中、障害者の雇用の継続と新規雇用を図るため、奨励金を事業主に交付するものです。

### 対象

県内の事業所において障害者を平成15年4月1日以前から雇用し、または、新規に障害者を雇用(3ヶ月以上)して、10月31日まで雇用する事業主

※対象となる障害者は、雇用保険の被保険者である身体障害者、知的障害者、精神障害者

### 奨励金の額

平成15年4月から10月までの雇用期間に応じ障害者ひとり当たり月額2千円

### 申込受付期間

11月4日(火)～11月21日(金)

### 申込用紙配布場所

県保健福祉事務所、県行政事務所、県庁障害政策課

申込先 県保健福祉事務所

問い合わせ先

県庁障害政策課

☎027-226-2632

沼田保健福祉事務所

☎23-2185

**中退共制度(中小企業退職金共済制度)に加入して従業員の退職金を準備しましょう!**

### 中退共制度の特色

▼国の制度なので安全・確実・有利です。  
▼適格退職年金制度からの移行先となっております。

▼掛金の一部が助成します。

▼パートタイマーの方も加入できます。

▼掛金は税法上、全額非課税になります。

▼過去の勤務期間通算や企業間を転職した場合に通算ができます。

▼掛金は預金口座より自動引落としとなり、退職金は退職者に直接支払われるので、管理が簡単です。

▼掛金は預金口座より自動引落としとなり、退職金は退職者に直接支払われるので、管理が簡単です。

▼掛金は預金口座より自動引落としとなり、退職金は退職者に直接支払われるので、管理が簡単です。

▼掛金は預金口座より自動引落としとなり、退職金は退職者に直接支払われるので、管理が簡単です。

▼掛金は預金口座より自動引落としとなり、退職金は退職者に直接支払われるので、管理が簡単です。

▼掛金は預金口座より自動引落としとなり、退職金は退職者に直接支払われるので、管理が簡単です。

▼掛金は預金口座より自動引落としとなり、退職金は退職者に直接支払われるので、管理が簡単です。

▼掛金は預金口座より自動引落としとなり、退職金は退職者に直接支払われるので、管理が簡単です。

▼掛金は預金口座より自動引落としとなり、退職金は退職者に直接支払われるので、管理が簡単です。

▼掛金は預金口座より自動引落としとなり、退職金は退職者に直接支払われるので、管理が簡単です。

▼掛金は預金口座より自動引落としとなり、退職金は退職者に直接支払われるので、管理が簡単です。

▼掛金は預金口座より自動引落としとなり、退職金は退職者に直接支払われるので、管理が簡単です。

▼掛金は預金口座より自動引落としとなり、退職金は退職者に直接支払われるので、管理が簡単です。

▼掛金は預金口座より自動引落としとなり、退職金は退職者に直接支払われるので、管理が簡単です。

▼掛金は預金口座より自動引落としとなり、退職金は退職者に直接支払われるので、管理が簡単です。

# 生涯学習予定表 7月

## ★生涯学習講座関係

・人権教育指導者研修会 5日

・村民教養講座、寿大学

「映画(折り梅)」 18日

・子どもクラブT・K

「尾瀬ハイキング」 13日

「宿泊活動」 29～30日

・トライやるスポーツT・K

「赤城山ハイキング」 27日

・第四回「古文書を読む会」

・青少年の主張(中学生) 10日

・体協会長杯GB大会 4日

・議長杯GG大会 上旬

・家庭婦人バレーボール大会 中旬

・郡民踊講習会 9日

・郡民踊講習会 24日

・スポ少大会 上旬

・スポ少球技大会 上旬

・君も山の探検家 6日

・一学期終業式 18日

・小学校関係

・小学校 22～24日

・銚子市明神小との交歓会

・水泳記録会 31日

・片小

・授業参観(低学年) 2日

・授業参観(中学年) 3日

・授業参観(高学年) 4日

・学校保健委員会 7日

・尾瀬学習 10日

・PTA水泳教室、心肺蘇生法講習会 12日

・北小

・学校一日公開日 9日

・南小

・授業参観、ひまわりの会 4日

・PTA役員会 11日

・PTA広報委員会 14日

・武尊根小

・桜花苑交流会 11日

・片小

・歯科保健指導(二年) 3日

・歯科保健指導(二年) 4日

・郡中体連 12・19・20日

・学校一日公開参観日 16日

・環境奉仕日 26日

・全校登校日 29日

・県中体連 30日

★その他

・書道教室 6・21日

※予定が変更される場合もありますので、予め御了承ください。

## 重症急性呼吸器症候群(SARS)について

### ◆SARSとはどんな病気？

世界十数カ国で発生している重症の肺炎で、主な症状は38度以上の急な発熱、咳や呼吸困難などの呼吸器症状です。感染が心配されるのは、SARSの伝播確認地域（注1）から帰国後、10日以内に38度以上の発熱や呼吸器症状が見られる場合です。

これらに当てはまるときは、沼田保健福祉事務所（☎0278-23-2185）へ電話して下さい。診察する医療機関をご紹介します。直接、診療所や病院で受診しないよう注意して下さい。これは、あなたの周りの方の健康を守るために大切なことです。

症状がない時や、帰国してから10日を過ぎても症状がなければ心配ありません。

### ◆SARSの予防法はありますか？

手洗いうがい、マスクの着用をお勧めします。伝播確認地域への不要不急の旅行は延期することをお勧めします。

### ◆SARSについて相談したい時は？

- ・沼田保健福祉事務所 平日  
（月～金曜日：午前8時30分～午後5時15分まで）
- ・SARSホットライン 毎日：午前8時30分～午後5時15分まで

☎027-224-8200

注1：伝播確認地域は、毎日、最新情報に更新されております。詳しくは保健福祉事務所にお問い合わせ下さい。

## 片品おやこ劇場 第34回公演 ひとみ座＝なかむらたかお ひとり人形劇＝ 「リスおとかめ吉」

…リスおはせっかちかめ吉はのんびり…

**日時** 平成15年6月28日（土）  
開演 午後5時30分（開場15分前）

**会場** 花咲の湯

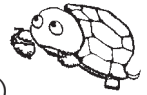
**入会** 当日入会可

入会金200円（4才以上）

月会費500円（ “ ” ）

**当日券** 2,000円（4才以上）

**問い合わせ** 片品おやこ劇場 ☎58-2348



## 個人向け普通救命講習会の開催

利根沼田広域消防本部では、個人向け普通救命講習会の参加者を一般募集します。費用は無料で、受講者には講習修了証が交付されます。

### 開催時期・場所

- 第一回 六月二十二日（日）北消防署
- 第二回 八月十日（日）中央消防署
- 第三回 九月七日（日）東消防署
- 第四回 十一月九日（日）西消防署
- 第五回 一月十八日（日）中央消防署

### 定員

中央消防署三十人

その他の消防署各二十人

### 開催時刻

各会場とも午前九時から正午まで。（八時三十分から受付）

### 申込場所

もよりの消防署で午前八時三十分から午後八時まで受付（電話申込み可。土、日、祭日も受け付けます。）

### 申込締切

実施日の二日前（金曜日）

詳しいことは各消防署へお問い合わせ下さい。

### 問合せ先

- 中央消防署 ☎（二四）一七三四
- 東消防署 ☎（五六）二三〇〇
- 西消防署 ☎（六四）〇〇〇二
- 北消防署 ☎（七二）四三四九

## 年金広報

### 年金支払通知書が送られます

年金を受けている人に、毎年6月になると社会保険庁から『年金振込通知書』（支払通知書）が送られます。

この通知書には、6月定期支払から翌年4月定期支払までの間に支払われる年金額、年金から特別徴収される介護保険料額、源泉徴収される所得税額が記載されています。

通知された後に支払額の変更や介護保険料額の変更などがあつた場合には、その都度通知書が送られます。

なお、介護保険料の特別徴収の対象となる人は、65歳以上で年額18万円以上の老齢・退職年金を受けている人です。

遺族・障害給付および年額が18万円未満の年金などは、特別徴収の対象とはなりません。

※年金に関する問い合わせは、社会保険事務所または村役場の国民年金担当係へ、また、介護保険料に関する問い合わせは、村役場の介護保険担当係へお願いします。

・渋川社会保険事務所 ☎〇二七九―二二―一六一



# いたずらわんぱく

ともや  
**智也**くん (H14. 6. 9生)

重草 匡・由貴子 さん(須賀川)のお子さん



## 命名

呼びやすく親しみのある名前をたくさん考え、兄弟で共通の漢字が入った「智也」を選びました。

## 将来どんな人になってほしいですか

人を思いやる心を持って行動ができる人。いろいろな経験をして自分の宝物にしてもらいたいと思います。

## 命名

しほ  
**詩萌**ちゃん (H14. 6. 17生)

桑原 浩・美知子 さん(下平)のお子さん



太陽に向かってまっすぐ伸びていく春の芽ぶき。草木が萌える頃生まれたので「萌」の字を使って、親しみやすく優しいひびきのある名前をと思い、「詩萌」に決めました。

## 将来どんな人になってほしいですか

まずは健康で、いつも笑顔で絶やさない優しい人に。そして芽ぶいた双葉が太陽に向かってまっすぐ伸びていく様に、自分の「しあわせ」に向かってまっすぐ歩いていける、そんな女性になってほしいと思います。それからたくさんの方とめぐり逢えますように…。

# フレッシュ・ヤング No.92

ほし の み き さん  
**星野 未来**さん 須賀川 (20才)



■**両親の名前**：昭夫、きよの

■**職業は何ですか**：片品村役場で働いています。

■**趣味は何ですか**：スポーツ（体を動かすことが大好きなんです）&ネイルアート（一時期ネイルアーティストになりたいって思ったことも…）

■**片品をどう思いますか**：自然がいっぱいあり、かつ観光も盛んで楽しく住みやすい所だと思います。片品の山々を見ると心が落ち着きます。そんな片品が大好きだあ!!

■**好きな異性のタイプ**：優しく、背が高く、考え方が大人で、目が二重で、アウトドア&外国好きで、etc…（よくばりすぎ?!）  
好きになればその人がタイプなんです

## 今月の納期は

国民健康保険税 第3期  
村県民税 第1期

納期は6月30日です

奥さん納期ですよ!

窓口から

四月二十日～五月十九日

おめでた

生まれた赤ちゃん 八人

千明 宗一 義春  
吉野 学 陽太  
星野 智一 友香  
戸丸 公明 瞳  
千明 茂 澄  
星野 武志 美月  
戸丸 清 夢有  
星野 博 直希  
星野 博 直希  
花咲 花咲  
花咲 花咲

結婚された方々 四組

笠原 三佳子 越本  
大竹 裕章 沼田市  
金子 真由美 鎌田  
永井 友和 倉瀬村  
入澤 尚美 鎌田  
星野 篤典 東小川  
森田 久美子 埼玉県

おくやみ

亡くなられた方々 五人

林 建吉 六七歳 越本  
萩原 八一 八〇歳 戸倉  
千明 正 八七歳 東小川  
星野りえ子 三七歳 下平  
萩原 幸雄 七二歳 土出  
※掲載を希望されない場合は届出の際に申し出て下さい。

広報「かたしな」は再生紙を使用しています。